

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3 年 3月 20日

事業所名 支援センター パレット

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	4		活動内容により、ホール訓練室を使い分けている	今後は、児童館など活用して適切な環境を整えていく。
	2 職員の配置数は適切である	1	4	3	少人数で工夫している	職員やパートを増やす目標にはするが、スキルアップも必要になってくる。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8			施設がほぼバリアフリー	玄関に低い段差はあるが、移動方法を適切に行う。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	3		職務会議、支援会議で職員同士で意見交換している。	今後も継続していく。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	2		普段から保護者とコミュニケーションを取るよう心かけている。	改善に繋がっていけるところは繋げていくようにしていく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	6		ホームページ公表している。	職員、パート職員にも周知していく。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	7		年に数回、社労士コンサルを活用して業務改善に努める。	改善できるところは改善していきたい。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	1		zoomで参加している。	今後も継続して研修に参加させたい。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8				
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	4			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	8			毎月1回活動ミーティングおこなっている。	コロナ禍で外出が減った為、今後は工夫して増やしていきたい。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			職員で情報を集め工夫している。	同じ活動にならない為に活動ミーティングで話し合い今後も継続していく。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	1		長期休みを意識した活動設定をしている。	長期休みの活動は午前と午後のプログラムを分けて活動に取り組んでいる。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8				
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	2		ミーティングで申し送りしている。	活動内容が不十分の場合は、会議を開き話し合うようにしていく。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1		業務終了後は毎日ミーティングして振り返りしている。リアルタイムでライン活用し情報共有している。	気になる事は直ぐに話できる環境を作り職員で連携をとっている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8				日々の記録は、個別支援計画に沿って記録しており振り返りについては支援会議等活用しておこなっている。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			モニタリングは各担当支援者が加わり、児発管と相談しながら計画書を作成		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	3				

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	8			管理者、児発管 が 参加している。	時間がある時は、同行で現場職員も参加さ せて いきたいと考えている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連 絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡)を適切に行っている	6	2		送迎時に担任から 話を聞くように心掛け ている。	学校送迎時に申し送りを聞くように心掛けて いる。 聞けない状況の場合は電話をするなど工夫が必要。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	4	4			現在、医療的ケア児の受け入れがなく、もし希望者が あった時には対応できるようにしなくてはならない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	8				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等している	6	2			現在、小学校を中心に受け入れている為、学校卒業 後の 移行については対応がないため今後卒業生の児童が いた場合は、対応できるようにしていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	3	5		専門職の方をお招き し 研修を行っている。	今年度はコロナ禍のため、研修が少なかった。 環境を工夫し研修を増やしていくようにする。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	2	5	1	広場へ外出し地域の子 ど 達とふれあいの場を 作っている。	コロナ禍で児童館や地域の学童クラブの交流が減った。 今後は方法を考えて取り組んでいきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	1	7			積極的に参加していくようにする。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	7	1		連絡帳や送迎時に、必 要であれば電話をして 日々 連携を図っている。	支援中の連絡帳の記入になり日々大変ではあるが連携を取 る 為にも今後も継続していきたい。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	3	4	1		取り組んでいきたいので研修に参加していく必要がある。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	4	4			契約だけではなく質問された時にその都度 説明していく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ ている	7	1		希望があれば、その都 度 面談を行い相談に のっている。	保護者支援も支援の内なので、職員一人一人が対応できる よう に研修をしていきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	6	2			密にならないように保護者会を開催していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	8			苦情要望記録に 残し会議で話し ている。	保護者と個別対応して解決している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	7	1		月1回だより作成し、保護者へ 配布 している。行事の時は保護者へ 手紙などを配布して連絡をして いる。	パート職員にも周知していくようにする。
	35	個人情報に十分注意している	8			個人情報同意書を1年 1回とり、同意の確認を している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	8				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	1	6	1	福祉まつりに参加し、 事業所を地域発信して いる。	今年度は地域行事が少なかった為、次年度は参加してい きたい

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	1			マニュアルは職員へ周知しているが、保護者へは周知したことが無いので、今後、保護者会などで周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			毎月、児童も一緒になり訓練している。	地域の交流もしていきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	3		県の虐待防止研修で配布された資料を使い、虐待防止研修を行って理解を深めている。	研修の場を開き職員に周知していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	2		個別支援に記載して保護者に説明している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	2		アレルギーのある児童には、医師の指示書を提出してもらい、職員全員へ周知徹底している。	パート職員にも周知していく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	1		ヒヤリハットは、気づいた時にその都度記入してもらい、支援会議で振り返りを行ない対策を検討している。	パート職員にも周知していく